



二月 (平)

きさらぎ 如月

胃宿

二月四日立春の節より
月命甲寅五黄土星の月
暗剣殺なし

旧 十二月大
正月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	木	きのえ	ね七赤	福井永平寺涅槃会撰心(7日迄)、天しや、甲子、一粒万倍日、旧十二月大	十六	先負	とづ	奎	よろづよし	6.41	17.08	18.00	7.00
2日	金	きのとう	八白	尾鷲まつり(1日〜5日)	十七	佛滅	たつ	婁	十し	6.41	17.09	19.09	7.45
3日	土	ひのえ	九紫	節分、豆まき、奈良春日大社万灯籠	十八	大安	のぞく	胃	天おん	6.40	17.10	18.25	7.05
4日	日	ひのと	一白	立春六時二八分	十九	赤口	のぞく	昂	神よし	6.39	17.11	19.02	7.33
5日	月	つちのえ	二黒		廿	先勝	みつ	畢	天おん	6.38	17.12	19.21	7.45
6日	火	つちのえ	三碧	新宮神倉神社火祭、己巳	廿一	友引	たいら	觜	ちう日	6.37	17.13	20.10	7.53
7日	水	かえう	四緑	初午、京都伏見稲荷初午祭、笠間稲荷初午祭、北方領土の日、大つち、一粒万倍日、不成就日	廿二	先負	さだん	参	ぶく日	6.36	17.14	20.44	8.01
8日	木	かえう	五黄	●下弦〇時五四分、こと始め、針供養	廿三	佛滅	とる	井	大まやう	6.35	17.15	21.19	8.28
9日	金	みづのえ	六白		廿四	大安	やぶる	鬼	大まやう	6.34	17.16	21.52	8.58
10日	土	みづのえ	七赤	加賀養生石部祭、福島信夫三山眺参り	廿五	赤口	あやぶ	柳	十し	6.33	17.17	22.27	9.34
11日	日	きのえ	八白	●建国記念の日、奈良禮原神宮例祭	廿六	先勝	なる	星	●	6.32	17.18	23.00	10.04
12日	月	きのと	九紫	振替休日、三隣亡	廿七	友引	おさん	張	母倉	6.31	17.19	23.33	10.19
13日	火	ひのえ	一白	望バレンタインデー、一粒万倍日、奈良長谷寺だだ押し	廿八	先負	ひらく	翼	母倉	6.30	17.20	24.06	10.33
14日	水	ひのえ	二黒		廿九	佛滅	とづ	軫	神よし	6.29	17.21	24.36	10.47

春日上、二月初頭には「立春」といふ春めいた節日が設けられるが、気候的に気温的には、雪または冷雨の日が多く、まだまだ寒波、寒風の荒れ狂うときである。【冠】とくもこの項に入れることでもないが、「立春」は陰暦の正月で、太陰太陽暦を使用する東洋の古い上の新年の起点とされている。したがって表紙裏の年齢早見表にも説明があるように、立春前日の節分までは、前年の生まれ年になるこの月は一ヵ月最少日の特異月で、しかもほぼ四年に一回開日がある。

【婚】婚礼に直接関係ないが、十四日は「聖バレンタインデー」といって、欧米ではこの日、女性から男性にプロポーズをしてもいいという風習がある。

もともとバレンタス司教の殉教の日であるが、これにギリシア神話の女神のロマンスが重なったものらしい。最近ではわが国でも

15日	木	つちのえ	三碧	全国緑化キャンペーン、ねはん会、小つち、横手かまくら、天しや、不成就日	卅	大安	たつ	角	よろづよし	6.28	17.22	6.02	16.45
16日	金	つちのえ	四緑	●朔六時〇五分、旧元日、高根出雲大社福神祭、全国狩猟禁止、日蓮聖人誕生会、旧成成正月小、伊勢神宮祈年祭(23日迄)、八戸えんぶり(20日迄)、岡山西大寺会陽祭	朔	先勝	のぞく	亢	万よし	6.27	17.23	6.39	6.42
17日	土	かえう	五黄		二	友引	みつ	氐	天おん	6.26	17.24	7.14	6.17
18日	日	かえう	六白	アレルギー週開(17日〜23日)、不成就日	三	先負	たいら	房	天おん	6.25	17.25	7.47	6.42
19日	月	みづのえ	七赤	雨水二時一八分、二の午、一粒万倍日	四	佛滅	さだん	心	神よし	6.24	17.26	8.20	7.07
20日	火	みづのえ	八白	水戸梅まつり(3月31日迄)	五	大安	とる	尾	天おん	6.23	17.27	8.53	7.34
21日	水	きのえ	九紫	十方ぐれ入り	六	赤口	やぶる	箕	大まやう	6.22	17.28	9.27	7.34
22日	木	きのと	一白	旧七草、水沢黒石寺蘇民祭、松山椿祭、24日迄	七	先勝	あやぶ	斗	十し	6.20	17.29	10.04	7.47
23日	金	ひのえ	二黒	●上弦一七時〇九分、皇太子誕生日、京都醍醐寺五大力尊仁王会	八	友引	なる	牛	●	6.19	17.30	10.37	7.53
24日	土	ひのえ	三碧	大田原大田山地蔵尊奉大祭、福井勝山左義長祭、三隣亡	九	先負	おさん	女	大まやう	6.18	17.31	11.12	8.01
25日	日	つちのえ	四緑	京都北野天満宮梅花祭	十	佛滅	ひらく	虚	母倉	6.17	17.32	11.32	8.11
26日	月	つちのえ	五黄	良忍上人忌、一粒万倍日、不成就日	十一	大安	とづ	危	きこ	6.15	17.33	12.05	8.25
27日	火	かえう	六白		十二	赤口	たつ	室	ぶく日	6.14	17.34	12.38	8.38
28日	水	かえう	七赤		十三	先勝	のぞく	壁	くま日	6.13	17.35	1.00	8.51

プレゼントするならわしをまねて、女性から男性にわたすチョココレートなどが盛んに売られるようになった。

【祭】節分は、本来は四季の移り変わる、とくは春の前日、地方によって旧暦の大晦日(おみそか)として、それぞれ伝統ある行事が行われている。

一般的には「福は内、鬼は外」と福豆(大豆の炒ったもの)をまき、この豆を年齢の数(地方によっては一粒多く)だけ食べる厄よけがある。柀(ひいらぎ)の枝にイワシの頭をさしたり、ニンニクなど強い臭気のあるものを添え「邪気」よけを行う風習もある。福豆をまき悪鬼を払うので追儺(おにやらい)といふ古くから神社仏閣で、この儀式は年男により行われている。十一日は「建国記念の日」として、国民の祝日になっている。

太平洋戦争終戦前は、紀元節といって四大節の一つであったが、終戦後は読んで字のように、日本国建国の記念日に定められた。

※「海上保安庁図誌利用第二九〇三〇二号」
※東京・晴海の満潮・干潮の時刻は海上保安庁刊行の「平成三十年潮汐表第一巻」から採用したもので、異常な気象の影響は考慮していません。
※行事・祭りは変更になる場合があります。事前に関係諸団体に確認ください。